

八甲学園だより

題字 松橋 大翔さん



〒030-0132 青森県青森市大字横内字桜峰63番地1号
お問い合わせ：TEL 017-738-2104
FAX 017-738-2116

八甲学園長挨拶



八甲学園
園長 三浦 善行

新年度を迎え、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より当園の運営に対し、格別のご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年度に引き続き、令和八年度においても園長を務めさせていただくことになりました。昨年度も、利用者の皆さん、利用者のご家族の皆様、関係者の方々、地域の皆様、そして職員達に支えられ、当園を運営することができましたことに深く感謝とお礼を申し上げますとともに、今年度も精一杯尽力いたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

当園は、今年度においても、障害児入所施設事業、生活介護事業、相談支援事業、就労継続支援B型事業、共同生活援助（グループホーム）事業の、入所、通所合わせて5事業を運営いたしております。5事業で入所者・利用者の方々合計約百名で、合計約八十名の職員で運営している大所帯の障害児・者総合施設となっております。事業は多岐に渡り、所帯も大きいですが、入所者・利用者の方々に対しては、本年度もこれまで以上に一人ひとりの尊厳を大切にしながら、安全で安心できるサービスの提供に職員一同精一杯努めていく所存です。大変手前味噌で恐縮ではございますが、当園職員は、

皆、大変優秀で、熱意に溢れ、何より365日二十四時間昼夜を問わず一生懸命に入所者・利用者の方々の支援にあたっておりますので、引き続き今年度一年間、ぜひ当園と当園職員を信頼していただきたく、よろしくお願い申し上げます。

さて、日本の福祉を取り巻く環境は、近年大きく変化しております。支援を必要とされる方の増加と、それを支える人材の確保という課題が顕在化しております。また、地域共生社会の実現に向けた取り組みが推進され、制度や分野の枠を超えた包括的な支援体制の構築が求められています。加えて、ICTやデジタル技術の活用による業務効率化やサービスの質の向上も重要なテーマとなっており、福祉現場においても変革の波が広がっています。こうした状況の中で、私たち福祉施設の役割はますます重要になっていきます。単にサービスを提供するだけでなく、利用者の方々が地域の中でその人らしく生活を続けられるよう支える存在として、地域との連携を一層深めていく必要があります。そのためには、職員一人ひとりがより一層専門性を高めるとともに、チームとしての力を発揮し、柔軟かつ創意工夫をもって日々の業務に取り組んでまいります。また、ご家族の皆様や地域の皆様とのつながりを大切にし、開かれた施設運営を心がけてまいります。皆様からいただくご意見やご要望は、より良いサービスを実現するための貴重な財産であり、真摯に受け止め、改善に活かしてまいります。

最後になりますが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、今年度一年間も、当園の運営には変わらぬご支援、ご協力を重ねてお願いいたしまして、今年度初頭の園長としての挨拶とさせていただきます。

相談支援事業所あおば

管理者兼主任相談支援専門員 工藤 摩世

相談支援事業所あおばは、昨年度に引き続き2名の職員体制となりました。また、令和8年度からは職員2名が主任相談支援専門員として配置になりました。

これまで同様にご本人やご家族に対して、より丁寧で質の高い相談支援が提供できるように、ソーシャルワークの専門職としての自覚を持ち専門性の向上に努めていきたいと考えています。また、地域でご本人やご家族を支えていくために、地域のつながりや支援者同士の連携等ネットワークづくりを大切にしていきたいと考えています。

ご本人やご家族、関係する事業所や地域の方々に気軽に声をかけていただけるよう、心がけていきたいと思っておりますので、本年度も、引き続き「相談あおば」をよろしく願っています。



横内町会合同清掃

総務企画監 山内 浩司

5月10日（日）、入所児童・通所利用者さんと職員の総勢26名で、毎年実施される横内町会合同清掃に参加しました。当日は春の暖かい日差しの中、町会の方々と合同で行われ、歩道等のゴミ拾いや浄水場中流の側溝蓋の落ち葉払い清掃を終了合図まで頑張りました。町会から頂いたジュースを飲み、多少の疲れも感じながら、きれいになった歩道や側溝などを見て達成感が湧き、今後横内町会の美化が維持されるよう、協力的に参加していきたいと思っております。



苦情解決

令和7年度苦情申出状況

・サービスの質や量（食事内容、サービス提供に関する不満）	・・・0件
・利用者の人間関係など	・・・0件
・職員の対応（態度、言葉遣い等）	・・・0件
・その他	・・・0件
合計	・・・0件

令和7年度3月までの苦情解決申し出は0件でした。利用者の皆さまから寄せられた苦情については、適切な対応により、その解決にあたります。

苦情及びその解決については、個人の情報にするものや申込者が拒否した場合を除き公表し、八甲学園の改善に努めます。

編集後記

令和8年度第1回目の広報誌を発行することができました。

今後ご利用者のニーズに応じたサービスを展開していきたいと思っております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今回の題字は、入所の松橋大翔さんです。

※掲載されている写真はすべて、ご本人・保護者様の了解を得ております。



八甲学園 HPはこちら



人事異動等

（令和7年3月31日～令和8年6月1日）

【退職者】		
地域支援第二課 支援員	横山 祐輔	
地域支援第二課 世話人	三上 武志	
【転入者】		
地域支援第一課	課長（しらかば寮）	舩谷 秀朗
地域支援第一課		
支援員（ライフサポートあおば）	横内 奈々	
地域支援第一課 支援員（安生園）	福井 千絵	
【新採用者】		
総務課	事務員	高橋 紗也佳
地域支援第二課	世話人	山崎 篤子
【昇格・昇任者】		
総務課	副主任事務員	渡邊 名帆美
地域支援第一課	副主任支援員	浅尾 葉月
地域支援第一課	副主任支援員	秋元 早紀
地域支援第二課	副主任支援員	進藤 権勇



このたび、障害者総合福祉センターなつごまりから異動してまいりました舩谷です。

これまでは入所施設で生活全般の支援に関わってきましたが、これからは通所という形で、皆さまの日中の時間を一緒に過ごさせていただきます。

当事業所は現在29名の方に契約いただいております、一人ひとりの特性や理解のしやすさ、ご希望に合わせて、3つのグループに分かれて活動しています。ダンスや調理、ゲーム、園外活動などのレクリエーション活動を通して、日々さまざまな取り組みを行っています。また、それぞれのペースで安心して過ごしながら、自分らしく取り組めるよう、見て分かやすい工夫や、やり取りをサポートする関わりを大切にしています。持っている力を活かしながら生産活動や請負作業にも取り組んでいます。

「ここに来るのが楽しみ」「はつごうに行きたい」と思っているだけのような、安心できて温かい場所づくりを大切にしながら、一人ひとりに寄り添った支援を行っていきたいと思っています。

新しい環境で学ぶことも多いですが、皆様と一緒に成長していけたら嬉しいです。

どうぞよろしく願っています。



地域支援第二課 支援員 落合 奈々美

共同生活援助事業所サンハウスは、定員57名で現在56名の利用者が一軒家タイプ8棟とアパートタイプ2棟のグループホームで共同生活を行っています。

利用者の皆さんが日々充実した生活を送れるよう職員と世話人が連携し、金銭管理や健康管理、食事の提供等の生活支援を行っています。

昨年度は、利用者の会「はつごう」の活動で、10月にボウリング大会と食事も、1月に新年会があり、利用者からは「今度は日帰り旅行やカラオケがしたい」等、様々な要望がありました。今年度も昨年のようなイベントで利用者の余暇の充実に繋がればと思っています。

これからも地域の中で安全に安心して生活を送ることができるよう職員一同、利用者の皆さんに寄り添い、精一杯サポートをしていきますので、今年度もよろしくお願いいたします。



共同生活援助事業所 サンハウス



こども支援課 支援員 千葉 正之

「障害児入所施設八甲学園こども支援課」について紹介します。

今年度は3名の仲間を迎え、3〜17歳までの児童が元気に伸び伸びと育っています。昨年度は季節に応じて様々なイベントを計画し、BBQやワ・ラッセの見学、かまくら作りやクリスマス会などを行いました。今年度も児童みんなが楽しめるイベントを開催したいと考えています。

児童の成長に少しでも尽力できるよう、支援のエキスパートである私たちスタッフが安心・安全のもと一丸となってサポートしていきますので、今年度もよろしくお願いいたします。

こども支援課



就労継続支援B型事業所 はつごう



地域支援第二課 副主任支援員 越田 速人

就労継続支援B型事業所はつごうは、定員20名で障害を持つ方に福祉的就労の場を提供し、働くうえで必要な知識や能力を身につけられるよう支援しています。

作業班は請負班、リサイクル班、給食班の3班体制をとり、利用者の方に作業を提供しています。

『請負班』
自社栽培の野菜、藍栽培の畑管理、受託作業（公園管理）、福祉ラザ花壇管理、冬場はGHの除雪作業等を行なっています。

『リサイクル班』
空き缶、ペットボトル、古紙の回収や分別・加工等の他、横内町会・横内連合町会のキャップ回収等を行なっています。

『給食班』
入所児童への3食・通所利用者の方への昼食提供・GHを利用する利用者の方への食事を提供しています。

作業配置については利用者の方からの希望や適性に基づき決定しており、意欲を持って参加出来ることを大切に支援すると共に、毎年の工賃の向上を図り、魅力ある事業所を目指し、職員一同取り組んでいます。

今年度は、作業の他にもレク開所日（土日開所）や通常営業日で「収穫祭」や「忘年会」、「慰労会」を計画しており、より多くの利用者の方に参加し、楽しんでいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

